

## SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラムユーザーインタビュー

### ■AI パネル⑧

小川 (29) / 薬剤師

- 属性： 宮城県仙台市青葉区。専門職。既婚・子供なし。
- 美容タイプ： 美容高感度層
- 購入チャネル： 百貨店オンライン
- 購入の動機： 職業柄、成分のエビデンスを重視。リニューアルで「引き締め」機能が強化されたと聞き、旧モデルの赤ボトルから迷わず乗り換えた。
- 現状： ベタつかないのに確実に角層まで届く浸透感を評価。妻も資生堂ユーザーのため、洗面所に赤と黒のボトルが並んでいる光景に夫婦で満足している。

### <結果サマリー>

「薬剤師の専門知」と「ブランド信頼」で老けを未然に防ぎ、高い美意識を夫婦で共有し合う『自己管理・保険層』

- 1. 美容についてのこだわり** 宮城県仙台市に住む 29 歳の薬剤師である対象者は、妻との二人暮らし。「だらしなく老けていくことへの危機感」を抱き、プロフェッショナルとして「根拠（エビデンス）」に基づいた清潔感を追求している。彼にとって美容は単なる身だしなみを超え、「顔の影に愕然とした」経験から、プロの施術をも厭わない徹底した自己管理の一環となっている。
- 2. 普段のスキンケアと目指す肌** 効率を重視しつつも、朝晩のステップには資生堂メンのラインを揃え、成分の浸透を最大化させるための「土壌改良」として美容皮膚科も活用している。対象者が目指すのは、内側からハリがあり疲れを感じさせない「健康的な肌」である。それは「薬剤師という立場上、不摂生に見えるのは避けたい」という、職業的プライドに根ざした切実な願いである。
- 3. 現使用美容液購入経緯** 旧モデルからの乗り換えの決め手は、リニューアルによる「引き締め機能の強化」という科学的アプローチへの納得感であった。薬剤師としての知見から成分表を読み解き、自分なりに「効果のロジック」を構築して意思決定を行っている。高額な買い物も「資生堂への信頼が勝った」と語る通り、ブランドの背景にある技術力を購入の正当化理由にしている。
- 4. 現使用美容液使用実態と評価** 使用時は体温で温め、下から上へ圧をかける独自の「儀式」を徹底。朝の洗顔時に「肌の密度がギュッと詰まっている」感触を得ることで、5段階評価の満点を付けている。高価格についても「肌への保険」と捉え、洗面所に妻のボトルと並ぶ光景を「自分たちの美意識が保たれている」象徴として享受しており、情緒的な満足度も極めて高い。
- 5. 現使用美容液 今後の使用意向** 現状の製品に絶大な信頼を寄せており、継続意向は非常に強い。他ブランドへの浮気心は薄いですが、唯一心を動かす可能性があるのは「細胞レベルの変化を可視化したデータ」や、より自分に最適化された科学的根拠を提示された時である。彼にとってのスキンケアは「自分を裏切らない投資」であり、常に最新の科学的最適解を求める姿勢が鮮明となった。

## 1. 美容についてのこだわり

**インタビュアー：** 本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。今日は、小川さんが普段お使いの美容液やスキンケアについて、色々とお話を伺えればと思います。まずは簡単に、お住まいのエリアやご職業、ご家族構成などを含めた自己紹介をお願いできますか。

**対象者：** 小川です。宮城県の仙台市青葉区に住んでいます。仕事は薬剤師をしていて、妻と二人暮らしです。

**インタビュアー：** ありがとうございます。ご自身の美容全般について、スキンケアに限らず何かこだわっていることや、大切にしている考え方はありますか。

**対象者：** 職業柄というのがありますが、やっぱり「根拠」があるものを選びたいという思いは強いですね。なんとなく良さそう、という雰囲気ではなくて、配合されている成分がどう作用して、どういうエビデンスがあるのか。そこが納得できないと、あまり手が伸びないんです。あとは、清潔感。患者さんと接する仕事ですし、30歳を前にして、だらしく老けていくのだけは避けたいという、ある種の危機感に近いこだわりはありますね。

**インタビュアー：** 「根拠」と「清潔感」、そして30歳を前にした「危機感」ですか。具体的に、どのような状態を「だらしく老けている」と感じ、それを避けるために意識されていることはありますか。

**対象者：** 頬のラインが緩んできたり、肌のキメが粗くなって、全体的にどんよりした印象になることですね。だから、単に潤えばいいというよりは、肌の土台というか、密度を保つことを意識しています。

## 2. 普段のスキンケアと目指す肌

**インタビュアー：**

ありがとうございます。それでは、小川さんの普段のスキンケアについて詳しく教えてください。まず、朝のスキンケアのステップと、洗顔後に肌につけている具体的なブランド名を教えてください。

**対象者：** 朝は時間が限られているので、効率重視です。洗顔の後は、資生堂メンの「ハイドレーティングローション」で保湿して、その後に今回の「アルティミューン パワライジング セラム」を塗ります。最後は、日中の乾燥や紫外線も気になるので、同じく資生堂メンの「モイスタライザー EG」で蓋をする感じですね。

**インタビュアー：** 夜のスキンケアについても、クレンジングや洗顔の後に使っているアイテムを順番に教えてください。

**対象者：** 夜は少し丁寧にやります。洗顔後に、朝と同じ「ハイドレーティングローション」をたっぷり使ってから、「アルティミューン」をしっかり馴染ませます。夜は特にこの美容液の浸透感をじっくり感じたので。その後に、妻も使っている「SHISEIDO」のクリームを少し借りたり、自分の乳液を使ったりして、しっかり保湿して寝ます。

**インタビュアー：** 毎日ではないけれど、時々行うようなスペシャルケア、例えばホームケアやそれ以外で何かされていることはありますか。

**対象者：** 週に1、2回、資生堂のシートマスクを使うことがあります。あとは、たまにですけど、妻と一緒に美容皮膚科へ行って、ピーリングや導入の施術を受けることもあります。プロの手を借りて、肌のコンディションを底上げしておくイメージです。

**インタビュアー：** スキンケアを通して、最終的にどのような肌を目指しているのでしょうか。

**対象者：** 「健康的な肌」ですね。薬剤師という立場上、不摂生に見えるのは避けたい。パツと見た時に、キメが整っていて、内側からハリがあるような、疲れを感じさせない肌が理想です。鏡を見た時に「あ、今日

疲れてるな」と思わない状態を維持したいんです。

**インタビュアー：**美容皮膚科でのケアまで取り入れていらっしゃるのですが、ホームケアだけでなく、わざわざ専門のクリニックへ通うようになったのは、何か具体的なきっかけがあったのでしょうか。

**対象者：**20代の半ばを過ぎた頃、仕事がハードだった時期があって。ふと鏡を見た時に、今までになかった「顔の影」というか、疲れが肌にそのまま出ていることに愕然としたんです。薬剤師として薬の知識はあっても、肌の構造自体を外側から立て直すには、一度プロの診断を仰いだ方が効率的だなと。

**インタビュアー：**「顔の影」に愕然とされたことが転機だったのですね。その時、ご自身の中で「薬の知識がある自分」として、美容皮膚科の施術に何を期待したのでしょうか。

**対象者：**成分の浸透効率ですね。いくら良い成分を塗っても、角層の状態が悪ければ意味がない。クリニックのピーリングや導入は、いわば「土壌改良」だと思っています。その土壌を整えた上で、毎日使う美容液のパフォーマンスを最大化させたかった。その方が、トータルで見た時のコストパフォーマンスや納得感が強いと感じたんです。

### 3. 現使用美容液購入経緯

**インタビュアー：**

ありがとうございます。では、今お使いの「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」について伺います。この商品を買った最初のきっかけは何でしたか。

**対象者：**もともとリニューアル前の赤ボトルのモデルを使っていたんです。ですが、今回リニューアルして「引き締め」の機能がさらに強化されたという情報を目にしまして。先ほど言った「だらしく老けたくない」という私のニーズに、科学的なアプローチで答えてくれそうだと感じて、迷わずスイッチしました。

**インタビュアー：**そのリニューアルの情報は、どこで、どのように知ったのでしょうか。

**対象者：**主にSNSの広告や、資生堂の公式サイトですね。ちょうど手持ちがなくなるタイミングだったこともありますが、特に「タウリン」など、薬剤師としても馴染みのある成分がどう肌に作用するのか、そのロジックが示されていたので、すぐに百貨店のオンラインショップで購入しました。

**インタビュアー：**「迷わずスイッチした」とのことですが、知ってから購入するまでに、他のブランドの似たような機能を持つ製品と迷ったり、誰かに相談したりすることはなかったのですか。

**対象者：**他のデパコスブランドも一通り成分表は見ましたが、結局、資生堂の「免疫」や「防御」というコンセプトへの信頼が勝ちましたね。妻も資生堂のアルティミューン（赤瓶）を使っているもので、ブランドとしてのバックボーンは家の中でも日常的に触れていて安心感がありました。相談はしませんでした。洗面所に並べた時の統一感というか、夫婦で同じラインを使っている満足感も、無意識のうちに検討ポイントになっていたかもしれません。

### 4. 現使用美容液使用実態と評価

**インタビュアー：**

それでは改めて、今の「アルティミューン」の使い方について詳しく伺います。毎日お使いになる中で、ご自身なりに「こう付ける」と決めていることや、意識している手の動かし方、あるいは部位などはありますか。

**対象者：**はい。まず、手のひら全体に広げて体温で少し温めてから、顔の内側から外側へ、リンパを流すようなイメージで広がっています。特に意識しているのは、ほうれい線が気になりやすい口角の周り、フェイ

スラインですね。ここは、指の腹を使って、下から上へグーッと持ち上げるように軽く圧をかけながら馴染ませるようにしています。

**インタビュアー：**「体温で温める」「下から上へ圧をかける」といった動作を意識されているのは、なぜでしょうか。小川さんなりの考えがあれば教えてください。

**対象者：**薬剤師的な観点から言うと、単に塗布するだけよりも、温めることで肌への親和性を高め、圧をかけることで物理的なマッサージ効果も狙いたいんです。リニューアルで強化された「引き締め」の成分を、ただ置くだけじゃなく、しっかり自分の肌の構造に「叩き込む」ような感覚ですね。自分の手で肌の弾力を確認しながら塗り込む工程自体が、効果を最大化させているという確信に繋がっています。

**インタビュアー：**ご自身の手で効果を最大化させている、という感覚なのですね。では、この「アルティミューン」の満足度を5段階で評価すると、現時点ではいくつになりますか。

**対象者：**「5」ですね。満点です。

**インタビュアー：**迷いなく「5」とのことですが、具体的にどのようなタイミングで、何を感じた時に「あ、やっぱりこれは満点だな」と満足を感じるのでしょうか。

**対象者：**一番は、朝の洗顔の時ですね。顔を濡らした瞬間の肌の質感が、使う前と後では明らかに違います。指が触れた時に、肌の密度がギュッと詰まっているというか、ハリがあるのを指先で感じるんです。あとは、夕方の鏡。仕事で疲れてきても、肌だけはシャキッとしている。その「持続力」を感じる瞬間に、高かったけど買って良かったな、と満足します。

**インタビュアー：**朝の指先の感覚と、夕方の鏡での持続感……。それら以外に、例えば香りやパッケージなど、他にも気に入っている点はありますか。

**対象者：**香りがいいですね。シトラス系の爽やかさの中に、どこか落ち着くような深みがあって。スキンケアを「義務」ではなく「自分を整える儀式」に変えてくれる香りだと思います。それと、あの黒いボトル。重厚感があって、手に取った時に「自分は良いものを使っている」という自尊心をくすぐられるデザインも気に入っています。

**インタビュアー：**ありがとうございます。それでは、小川さんにとって、この「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」の最大の魅力とは、一言で言うとどのようなことだと思われますか。

**対象者：**「自分への信頼を補強してくれる投資」でしょうか。成分という科学的な根拠に基づいた安心感と、それによって得られる肌の自信。この二つが揃っているからこそ、毎日迷いなく使い続けられる。単なる美容液以上の、メンタルな支えに近い魅力があると思っています。

## 5. 現使用美容液 今後の使用意向

**インタビュアー：**

今後のことについて伺わせてください。この「SHISEIDO MEN アルティミューン パワライジング セラム」を、これからも使い続けたいと思いますか。

**対象者：**はい、使い続けるつもりです。今のところ、これに代わるものが見当たりませんから。肌の調子が良いという「結果」が出ていますし、薬剤師として成分の納得感もある。自分にとっての「定番」として、もうしばらくはお世話になると思います。

**インタビュアー：**「これに代わるものが見当たらない」とのことですが、例えば今後、他のメーカーからさらに「引き締め効果」や「科学的エビデンス」を強調した、より高価な新しい美容液が出たとしたら、興味を持つことはありますか。

**対象者：**興味がないと言えば嘘になりますね。成分表を見て、今のアルティミューンを超えるような革新的

なロジックがあれば、試してみたいとは思いますが。ただ、資生堂というブランドへの信頼がベースにあるので、乗り換えるには相当なインパクトが必要だと思います。

**インタビュアー：** 乗り換えるには「相当なインパクト」が必要。具体的に、どのような情報や変化があれば、「アルティミューン」から他へ心が動く可能性があると思われますか。

**対象者：** うーん……。例えば、もっとダイレクトに「細胞レベルでの変化」を可視化して示してくれるようなデータとか、あるいは自分の肌の状態をより精密に解析した上で「今のあなたにはこれが必要です」とパーソナライズされた提案をされた時ですかね。今はアルティミューンで十分満足していますが、より自分に最適化された「科学的な根拠」を突きつけられたら、揺らぐかもしれません。